

埼玉・東松山に営業所を開設

王将フードサービスの東日本地区の物流を担う



アサヒロジスティクス（横塚元樹社長）は、埼玉県東松山市新郷の王将フードサービス（渡邊直人社長）の東松山工場内に東松山営業所を設置、12日に開所式を開いた。

王将フードサービスは、従来、千葉県の船橋工場で東日本地区の約150店舗向けに餃子や製麺などの生産を行ってきたが、今後の店舗の増加を見込み、昨年2月から東松山に新工場を建設していた。1万5205平方メートルの敷地に、鉄骨造り4階建ての1万7541平方メートルの床面積を持ち、約500店舗分の生産能力があり、関東や東北、新潟など東日本地区の店舗をカバーする。この新工場の稼働は3月を予定しており、それにもない船橋工場は廃止する。アサヒロジスティクスは、王将フードサービスの東日本地区の配送、仕分けを担当する。

神事の後、開所式で挨拶に立った横塚社長は、「日本一安全で品質の高いサービスを提供し、日本中の家族を豊かにする」「CSⅡE

アサヒロジスティクス

CSⅡCSを実現し、お客様と我々の生活を豊かにする」「物流業界を、誰もが働きたいと思える憧れの業界にする」の同社の経営理念をあげ、「この経営理念を基本的な考え方として理解して、お客様に対して責任を持って、自分たちの力で仕事をしていくことをお願いする」として、さらに「当社には営業マンは存在しない。全員の仕事の成果が最大の営業力だ」と述べた。最後に、「この新工場は、王将フードサービスにとって大きなプロジェクトであり、しっかりとお役に立ち、アサヒに頼んでよかった」と言ってもらえるようにしたい」と締めくくった。

また、王将フードサービス製造加工部の宮司修一購買課長は、「東松山工場は、食品の安心・安全を重視しており、とくにチルドの餃子を主力と考えている。今までにやってきた以上のことが要求されると思うが、これまでのアサヒロジスティクスの実績を活用させていただき、相互に協力していければと思っている」と期待を述べた。

アサヒロジスティクス株式会社
東松山営業所



挨拶する横塚社長